

阪南市生涯学習推進計画

「まなぶ・はぐくむ・つなぐ 生涯学習のひと・まちづくり」

今後の5年間に向けて（令和3年度～令和7年度）

1. 阪南市生涯学習推進計画～今後の5年間に向けて

阪南市の生涯学習推進計画は、平成11(1999)年3月に策定された計画（まちづくりの井・炉・葉プラン）をスタートとして、現在、平成27(2015)年3月に策定した現計画（まなぶ・はぐくむ・つなぐ 生涯学習のひと・まちづくり）において市民の生涯学習を推進しています。

現計画は、平成27(2015)年度から令和6(2024)年度までの10年間を計画期間としていますが、計画策定後に、公民館運営に関する「中央公民館体制の構築」や、市の行財政構造改革プランによる「市内社会教育施設への指定管理者制度導入の検討」など、新たな課題や施策に対する取組が必要です。そこで、現計画の前半5年間を踏まえ、今後の5年間に向けて新たな視点を加えて計画の推進を図ります。

2. 現計画の体系について

現行の生涯学習推進計画では、基本理念「まなぶ・はぐくむ・つなぐ 生涯学習のひと・まちづくり」の実現を図るために、生涯学習推進の4つの基本目標を定めています。

- (1) 「市民が自主的に学べる生涯学習の環境づくり」
- (2) 「生涯学習の成果を地域に還元する仕組みづくり」
- (3) 「生涯学習を通じて心豊かな生きがいつくり」
- (4) 「生涯学習による地域コミュニティづくり」

この目標の実現をめざし、具体的な施策の展開を図っています。

基本施策	(1) 学びの情報提供	・ 情報提供の充実 ・ 学習相談窓口の充実
	(2) 学びの機会の充実	・ 学習意識の啓発 ・ 市民に対応した学習機会の提供 ・ 地域課題に対応した学習内容の充実 ・ スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実 ・ 文化・芸術の振興と伝統文化の継承 ・ 青少年の健全育成 ・ 国際交流の推進 ・ 人権教育の推進
	(3) 学びの場づくり	・ 生涯学習関連施設の整備と充実 ・ 生涯学習関連施設の連携
	(4) 学びの人材づくり	・ 地域活動のリーダーの養成 ・ ボランティアの養成
	(5) 学びの成果の評価と活用	・ 活動の成果を発表する機会の充実 ・ 地域社会に還元できる機会の充実
	(6) 学びのネットワーク	・ 団体のネットワーク推進 ・ 地域のネットワーク推進

3. これまでの取組と今後の課題

これまでの5年間で、社会教育施設の運営の他、基本施策の展開に努めてきました（巻末資料【これまでの取組】参照）。生涯学習推進の核となる生涯学習関連施設のネットワーク化、生涯学習情報の発信に取り組んできましたが、様々な講座や学びの場を企画する中で、施設と市民、市民と市民をつなぐ地域活動のリーダーとなるべき人材育成が課題となっています。さら

に、地域の高齢化に伴い、様々な活動の継続が問題となっている点も大きな課題です。

【今後の課題】

主な内容	課題	これから必要と考えられる取組
生涯学習情報発信	まだまだ情報発信が足りていないが一定の取組が実現している。	施設等の情報発信のさらなる一元化が必要（ウェブサイトによる発信等）。
現行の指定管理者との連携	様々な事業で行政、市民団体との連携を進めている。	公民館、図書館の指定管理者制度導入を視野に入れた展開が必要。
社会教育関係団体の育成	少子・高齢化、市民ニーズの多様化により団体構成員の減少で悩む団体が多い。	団体活動の活性化を図る取組が必要。併せて補助金制度の見直しも検討が必要。
次世代の利用促進	特に公民館では次世代の利用が求められている（クラブ活動等）。	施設の魅力発信が必要。また次世代が求める講座等にどのように取り組むかが課題。
ハード整備	施設改修は、市の財政状況により、先送りになっている部分が多い。	総合的な施設・備品の老朽化対応のため一元管理が必要か。
コーディネーター等の養成	各社会教育施設、市民活動団体等でコーディネーター役の人材は存在するが、それをシステムとして取り組む体制が必要。	市民の育成、職員・スタッフの育成。システム化への取組。

4. これからの取組について

生涯学習の推進については、計画の中で非常に幅広い分野の取組を策定していますが、これからの5年間はポイントを絞った取組が必要と考えます。前段の課題解消には、行政組織だけで解決できるものではなく、市民と共に考え、行動する街にならなければ難しいでしょう。行政・施設・市民が今まで以上に協力し合える体制づくりのため、次の取組を進めます。

「市民がやりたいと思うこと」を生み出せる体制づくり

1. 市民（団体）と施設や行政が「協働」する事業展開

事業の企画段階から協力し合える体制づくりをめざします

○施設（指定管理者）、市民、団体等との事業企画のための場の創出

- ・市民が「やりたいと思うこと」を生み出す場
- ・学びの場をつなぐコーディネーターの育成

○新しい形の学習グループの創出

- ・課題を多くの市民と共に考える場づくりの推進
- ・自己の趣味や志向だけではない活動への参加へつなげる

○行政と市民（団体）、施設をつなぐ役割「スーパーバイザー」の配置

- ・各施設と共に良い事業展開を図る要となるスタッフとして配置
- ・スーパーバイザーとなるスタッフを外部から登用することも検討

2. 施設（指定管理者）が連携した事業展開

学習成果をさらに活かすために事業等のネットワーク化を進めます

○各施設主催事業等を、次の学びに結びつける事業展開を図る

- ・複数施設が連携した事業を実施することで幅広い市民の学びにつなげる
- ・市民が学習成果を実感できるような仕組みづくり

阪南市生涯学習推進計画のお問い合わせ先

阪南市 生涯学習部 生涯学習推進室

〒599-0292 阪南市尾崎町 35-1 TEL：072-471-5678 FAX：072-473-3504

《参考》これまでの取組（平成27年度～令和2年度）

年度	項目	内容
平成27年度	庁内連絡調整会議の開催 (平成28年1月)	庁内各課・室が情報交換、情報共有、ネットワーク化を図るため開催。庁内各課・室における生涯学習推進事業の取組み報告、情報交換。
	施設長会議の開催 (平成28年3月)	社会教育施設等が情報交換、情報共有、ネットワーク化を図る。社会教育施設等における生涯学習推進事業の取組み報告、情報交換。
	生涯学習シンポジウム開催 (平成28年3月)	阪南市生涯学習推進計画の実現に向けて、生涯学習に対する理解と、市民のみなさんの今後の連携が進むよう、生涯学習シンポジウムを開催。内容：パネルディスカッション(テーマ 地域資源を活かした生涯学習の推進)
平成28年度	生涯学習関連施設長会議	生涯学習推進に関わる施設を対象に、関係施設間の連携を図るため開催。施設間で検討できるような内容を軸に、課題解決、情報共有につなげる。年2回開催。
	阪南市立公民館運営審議会から提言	「阪南市における今後の公民館体制について」～中央公民館体制の整備の必要性～
	生涯学習まなびあいひろば開催	前年度に実施した「生涯学習シンポジウム」の継続事業として、生涯学習について市民とともに考える場として実施。様々な活動をしている市民から現状に対する意見をいただき、これから必要な学習活動の方策を考え、学習の成果を活かせる生涯学習によるひとづくり・まちづくりの実現を図る。内容：パネルディスカッション(テーマ：地域資源を活かした生涯学習の推進)
平成29年度	社会教育委員会議へ諮問	「阪南市における「学びの場」のあり方について」
	生涯学習関連施設長会議	年4回開催。
	「阪南市の生涯学習・イベント情報」発行	主に公民館をはじめとする生涯学習関連施設が実施する様々な生涯学習関連事業の情報を掲載し、一人でも多くの市民が学習活動に関わることができるように情報を提供。年4回発行。
	生涯学習まなびあいひろば開催 (平成29年6月)	テーマ：まちづくりの活動から考える“ひとづくり”
平成30年度	社会教育委員会議から答申	「阪南市における「学びの場」のあり方について」
	生涯学習関連施設長会議	年4回開催。
	「阪南市の生涯学習・イベント情報」発行	年4回発行
	はなてい・まなびばネット開始 (平成30年6月～)	社会教育施設や市民活動団体が主催する講座を単位制にして提供。年間20講座実施。
	生涯学習まなびあいひろば (平成30年6月)	テーマ：まちづくりの活動から考える“ひとづくり”
	阪南市政財政構造改革プラン策定	施設利用料金の見直し、指定管理者制度の導入など。
令和元年度	社会教育施設指定管理者制度導入を検討	公民館、図書館。
	生涯学習関連施設長会議	年4回開催。
	「阪南市の生涯学習・イベント情報」発行	年4回発行。
	はなてい・まなびばネット	年間20講座実施。
	泉州アートサミット (令和元年10月)	テーマ「まちづくりのための仕組みづくり」“文化”をキーワードに、様々な個人や団体が結集し、泉州エリアの持続的な発展と活性化をめざす取組として実施。泉大津市、泉南市、岬町と協力して開催。
	講演&市民ワークショップ (令和元年12月・令和2年1月)	テーマ「あしたの図書館～図書館からはじまる、わたしのまちづくり」総務省地域情報化アドバイザー派遣制度により開催。
令和2年度	公民館指定管理者選定	選定委員会による選定
	阪南市立図書館協議会から提言	阪南市立図書館の今後のあり方について
	社会教育施設指定管理者制度導入を検討	図書館
	生涯学習関連施設長会議	新型コロナウイルス感染症の影響で、2回開催。
	「阪南市の生涯学習・イベント情報」発行	新型コロナウイルス感染症の影響で、1回発行。
	はなてい・まなびばネット	新型コロナウイルス感染症の影響により開催休止中。